

# 祝 成人

企画・運営スタッフ  
17人の抱負と感謝のことば

希望溢れる未来へ向かって

合田 智哉さん  
(豊浜町)

ことしは、社会人として自信を持って行動できるようにになりたいと思います。

荻田 由依さん  
(高屋町)

将来の夢をかなえられるように、今できることを頑張っていきたいと思います。

山口 龍星さん  
(豊浜町)

周りの人に感謝して、成人という自覚を持ち責任ある行動をしていきたいと思っています。

秋山 美樹さん  
(柞田町)

今までお世話になった人々や支えてくれた人々に恩返しができるように、今できることを一生懸命頑張りたいです。

鈴木 大耀さん  
(池之尻町)

今までお世話になった人々への感謝の気持ちを忘れずに、これからの日々を過ごしたいと思います。

藪内 すみれさん  
(大野原町)

これからは社会人として、自覚ある行動と責任を持った大人になります。

篠原 聖弥さん  
(大野原町)

20年間お世話になった人々への感謝の気持ちを忘れずに生きていきたいです。また、目標に向かって努力し、恩返しできるように頑張りたいです。

1月7日、新成人の門出を祝う成人式がハイスタツフホール（観音寺市民会館）であり、433人が出席しました。華やかな晴れ着やスーツに身を包み、級友との再会を喜んだり、懐かしい恩師からのビデオメッセージに歓声を上げたりする姿があちこちで見られました。式典では、白川市長が「地域のひととの交流を大切に、地元に貢献できるような人になってください。今日の目を胸に、自分の考えをしっかり持ち、未来に向かって頑張ってください」と激励。新成人を代表して荻田比呂さんと瀬部樹亜さんが「成人を無事迎えられたのは、家族や先生、地域のひと、仲間たちのおかげです。これからは一人でも多くの人の支えになれるよう強く、優しく、たくましく生きていくことを誓います」と誓いのことばを述べました。



▲感謝の気持ちを忘れず、輝く未来に向かって一歩踏み出します



▲友人との再会に笑みがこぼれます



▲新成人誓いのことば  
◀弾ける笑顔で思い出に残る1枚



▲恩師からの心温まるビデオメッセージに感激



▲新成人スタッフが企画したじゃんけん大会



▲新成人スタッフが受付を担当



▲あでやかな振袖姿の新成人

成人式の写真をお渡しします

成人式で撮影した集合写真  
を無料でお渡しします。

日時 2月26日(月) 午前8時30分〜午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)

場所 文化振興課  
文化振興課

問い合わせ先  
文化振興課

☎ 23-13943

増田 みうさん  
(室本町)

ことしから社会人になるので、責任感を持ち、人を笑顔にすることができる美容師になれるように頑張ります。

金崎 慎さん  
(坂本町)

今、目指している夢があります。その夢を実現することでお世話になった人々に恩返しします。

内山 華穂さん  
(池之尻町)

これからは一人前の社会人としての責任と自覚を持ち、何事にも頑張りたいと思います。

西山 伶央さん  
(大野原町)

周りの人に感謝して、社会人としての自覚を持った行動ができるよう頑張りたいです。

山田 彩奈さん  
(室本町)

周りの人に感謝し、未来の夢をつかむため、今できることを精一杯頑張っていきたいです。

吉田 君太さん  
(柞田町)

社会人として責任のある行動をとりたいたいと思います。

瀬部 樹亜さん  
(瀬戸町)

夢をかなえて、観音寺市に帰ってきます。

大西 未来さん  
(大野原町)

二十歳までここで育つことができ良かったです。良い20年間でした。

荻田 比呂さん  
(高室町)

観音寺市を誇れる人間になります。

岡崎 美鈴さん  
(室本町)

誰からも慕われる、すてきな女性になります。



# がんおんじタウン情報

## 市役所からのお知らせ

各記事に対するお問い合わせはFAX、電子メールでも受け付けます。  
 F 2313920  
 E kouhou@city.kanonji.jp

### お知らせ

**観音寺市行政改革推進計画の取組実績**  
 市では、平成27年度に「観音寺市第3次行政改革大綱」および「観音寺市行政改革推進計画」を策定し、行政改革に取り組んでいます。  
 平成28年度は、水道料金等の収納率の向上や未利用地の売却、公用車の集中管理などに取り組み、約1億8千万円の削減効果がありました。  
 企画課 ☎2313917

**定期監査の結果**  
 地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定により公表します。  
 平成29年12月1日  
 監査委員 佐伯 文男  
 ○監査期間 平成29年10月1日～11月7日  
 ○監査対象 健康福祉部、教育部  
 ○監査の留意点 財務等に関する事務の執行が、関係法令等に基づき適正かつ効率的に行われているか、また、組織および運営が合理的かつ効率的に行われているかに重点を置き、行政監査的な観点からも実施しました。  
 ○監査の結果 予算の執行および事務処理は、関係法令等に準拠しており、おおむね適正に処理されているものと認められました。今後とも法令等を遵守し、厳正かつ適切な事務の執行に留意されるように、監査の結果による意見を付しました。また、一部、改善や検討を要する事項については、速やかに所要の措置を検討、実施するように要望しました。  
 監査委員事務局 ☎2313947

**観音寺市まちづくり市民アンケートを実施します**  
 本市は、まちづくりの指針である「観音寺市総合振興計画」に基づき、各種施策を進めています。これまでの取り組みを検証するとともに、今後のまちづくりの反映させるため、市民の皆さんの市政への意見を伺います。ご協力をお願いいたします。  
**対** 本市に住所を有する18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）  
**実施時期** 1月末から2月  
**配布・回収方法** 対象者にアンケート用紙を郵送します。同封の返信用封筒で返信してください。  
 企画課企画調整係 ☎2313917



**12/17 古墳カードなどグッズも人気!**  
 平成27年10月に大野原古墳群（椀塚・平塚・角塚古墳）が国指定史跡となったことを機に、大野原古墳まつりが古墳群周辺で開催されました。市内外から訪れた参加者らは、スタンプラリーで古墳を巡り、特別公開された石室内部を見学。各古墳では地元の中・高校生やボランティアが案内役を務め、石室の構造や当時の豪族の様子を説明し古墳の魅力を発信していました。



**12/20 しめ縄作りを地域の人たちから学ぶ**  
 豊浜小学校体育館で市女性団体連合会主催のしめ縄作りが行われました。これは、日本文化の伝承と地域の人との交流を目的に行われていて、今回で14回目。6年生54人は長寿会の人たちから「しめ飾り」のいわれや作り方を教えてもらい、しめ縄作り挑戦。初めは悪戦苦闘をしていた児童も、アドバイスを受けつつをつかむと、手と足を使って上手に仕上げていました。



**12/28 全力で1分30秒の戦いに挑みます**  
 文部科学大臣旗争奪 彩の国杯第12回全国中学生空手道選抜大会（組手競技）に出場する安藤舜さん（三豊中学校2年）と安藤真愛さん（同校1年）の激励会がありました。白川市長は「良い成績を残せるよう頑張ってください」と激励。選手たちは「一つでも多く勝ち上がります」「練習の成果や先輩の教えを全て出せるよう頑張ります」と力強く決意を述べました。



**1/7 郷土を守る決意も新たに出初式**  
 観音寺市消防団出初式が市総合運動公園で行われ、市内の8方面隊の22分団が勢ぞろいしました。これは、団員の団結力や士気の高揚を図り、市民に防火・防災活動への理解を深めてもらうため、毎年年初に行われています。団員はきびきびと竹ばしご操法や消防操法、一斉放水等、日ごろの訓練の成果を披露しました。



**1/9-15 真狩村から 絵画の便りが届きました**  
 北の大地の子どもたちが生き生きと描いた図画や習字などの力作26点が、市役所1階エントランスホールに展示され、来庁者の目を惹きました。これは、姉妹都市真狩村と本市の小学生の作品を紹介し合う交換展示で、今回で8回目となりました。また真狩村では、ことしの交流校（豊田・一ノ谷・豊浜小学校）の作品32点が展示されました。



**男女共同参画**  
 観音寺市男女共同参画講演会  
 『オール1の落ちこぼれ、教師から主夫になる』性別だけでは決まらない役割分担』  
 企画課男女共同参画推進室 ☎2313917

観音寺市では、男女共同参画社会の実現に向けて市民の皆さんの関心を高め、理解を深めてもらうきっかけになるよう、観音寺市男女共同参画ネットワーク「GENKIネット」と共催し、毎年講演会を開催しています。  
 ことしは『オール1の落ちこぼれ、教師から主夫になる』性別だけでは決まらない役割分担』と題して、宮本延春氏の講演会を開催します。また、宮本氏の講演に先立ち「GENKIネット」の活動を紹介します。  
 皆さんは「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識に捉われない一人ひとりの役割分担について考え、意識を改革していきましょう。この機会に、皆さんお誘い合わせの上、ぜひお越しください。  
 時 2月24日（土）午後1時  
 料 無料

30分～午後3時30分（午後1時開場）  
 所 中央図書館2階多目的ホール  
 講 宮本延春氏／元高校教師、エッセイスト、作家

1969年愛知県生まれ。中学卒業後、見習い大工に。その後、両親との死別を経験、フリーターとなり自分の人生を模索する。23歳のときに物理学に興味を持ち、24歳で定時制高校へ進学。27歳で名古屋大学に合格。大学院で物理の研究に没頭。その後、母校の教師を経て、現在は講演や執筆を中心に活動している。著書『オール1の落ちこぼれ教師になる』他多数